

施策項目 1 6 健康教育の充実

[評価結果]

【担当課:健康・体育課】



担当課 HP

総合評価	概ね計画どおり
-------------	----------------

定量評価 [指標]	B
------------------	----------

指標	評点	(a)	(b)	(c)	(d)
	評価数	0	2	2	0
	d評価となった指標				

定性評価 [施策]	進展あり
------------------	-------------

子どもたちが生涯にわたって健康な生活を送るための資質・能力の育成に向けて、新型コロナウイルス感染症による心身への影響や、健康課題の解決に向けた校種ごとの取組例の周知等が課題となっていることから、健康教育推進リーダーの育成や具体的な取組例の作成・周知等を実施した。コロナ禍で研修形式を集合とオンラインのハイブリッドで実施したことにより、14管内全てから参加があり、行政関係者の参加も増えたほか、「事例や実演、実際に使用している資料が参考になった」という意見が多く、成果が見られた。

[施策の推進状況]

【P】・・・「Plan 令和3年度の主な施策」 【D】・・・「Do 主な取組の状況」
 【C】・・・「Check 施策の課題」 【A】・・・「Action 今後の方向」

《課題・背景》	<p>(1) 生涯にわたって健康な生活を送るための適切な意思決定や行動選択などの資質・能力の育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・肥満傾向児の出現率や朝食欠食の割合が全国よりも高くなっており、望ましい生活習慣の確立に向けた指導の充実が必要 ・歯・口腔の健康は、生涯にわたって健康な生活を営む上で基礎的かつ重要な役割を果たすが、12歳児の永久歯の一人当たり平均むし歯等数は、依然として全国平均を上回っていることから、歯・口腔の健康づくりの推進が必要 <p>(2) 学校、家庭、地域が連携した体制の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様化した児童生徒の健康課題（感染症への対応、アレルギー疾患の増加等）に対応するため、教職員の指導力の向上や学校・家庭・関係機関の連携体制を構築するための支援が必要
----------------	---

(1) 生涯にわたって健康な生活を送るための適切な意思決定や行動選択などの資質・能力の育成	
【P】 次年度へ	<p>① 望ましい生活習慣を確立するための取組に向け、養護教諭の実践的な指導力向上を図るため、健康教育推進リーダー（養護教諭）の育成及び研修の実施</p> <p>② 児童生徒の歯・口腔の健康づくりの推進を図るため、「フッ化物洗口普及事業」等の促進</p>
【D】	<p>① 養護教諭を対象とした研修等を通じて、健康教育推進リーダーを育成（リーダー：20人、参加者：374人）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・養護教諭の研修や健康教育研修会等において、実践発表を実施（参加者：257人） <p>② 新型コロナウイルス感染症の影響により実施を見合わせている市町村の把握及び保健福祉部等と連携した早期の再開に向けた働き掛けの実施（実施を見合わせている市町村：93市町村）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未実施市町村及び実施を見合わせている市町村等を含む全ての市町村を対象に、保健福祉部と連携を図り、再開支援説明会の実施（参加市町村：108市町村）
【A】	<p>① 各校種ごとにリーダーを指定し、自校での実践研究や初任研等の講師、年4回の協議を通じて資質能力を育成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康教育に係る研修会への参加校数の目標等を設定し、実践研究の成果を広く周知 <p>② 保健福祉部と連携を図り、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全ての市町村を対象に、児童生徒の歯・口腔の健康をテーマとした説明会（オンライン） ・未実施市町村を対象に、導入に向けた説明会（オンライン）を実施
【C】	<p>① 各リーダーによる実践について協議や検証を行う場がないことから、実践研究のための仕組みが必要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修への参加促進の働き掛けに課題があることから、ターゲットとする地域を絞り、計画的に成果の普及を図ることが必要 <p>② フッ化物洗口の実施に関し、感染リスクの不安の声があることから、事例や専門家の助言を踏まえたフッ化物洗口における感染症対策の周知が必要</p> <ul style="list-style-type: none"> ・未実施市町村への働き掛けに課題があることから、導入に向けた方策が必要
(2) 学校、家庭、地域が連携した体制の充実	
【P】 次年度へ	<p>① 道内各地域からの参加が可能となるようオンラインを活用した健康教育研修会の開催</p> <p>② 学校、家庭、地域が一体となり、効果的な取組を行っている事例の資料を作成・配布</p>
【D】	<p>① 児童生徒の現代的な健康課題（アレルギーへの対応、性・薬物乱用防止等）に対応するための研修会の開催（11月開催、参加者：158人）</p> <p>② 新型コロナウイルス感染症の感染対策等の健康課題に対する校種ごとの学校保健委員会の取組例を作成・配布</p>
【A】	<p>①・② 養護教諭を対象とした研修をはじめ、校長会議や教育局の主査会議等において、好事例の資料等を活用し、学校保健組織活動の活性化に向けた具体的な指導助言を実施</p>
【C】	<p>①・② 研修等の中で「体制整備に向けた取組のイメージが持てない」という声があったことから、好事例の効果的な活用の方策が必要</p>

[指標の状況及び評価]

指標の内容	基準値	目標値（上段）						進捗率	評価	出典 (調査名等)	実施主体	調査期 日又は 調査対 象期間	指標の 対象	
		実績値（下段）												
		(H29)	(H30)	(R元)	(R2)	(R3)	(R4)							
① フッ化物洗口を実施している小学校の割合(%)	(H28)		80.0	85.0	90.0	95.0	100	88.6%	c	フッ化物洗口 実施状況調査	道教委	R4.3	公立小学 校	
	64.7	73.4	82.2	83.5	84.2	84.2								
② 学校保健委員会を、年間に複数回開催し ている小・中学校、高等学校の割合(%)	小	(H29)		45.0	60.0	75.0	90.0	100	85.1%	c	学校保健委員 会の設置状況 等調査	道教委	R3.4~ R4.3	公立小・ 中・高等 学校
		21.1	21.1	51.2	56.0	58.5	76.6							
	中	(H29)		50.0	65.0	80.0	90.0	100	92.4%	b				
		27.6	27.6	56.5	60.0	63.9	83.2							
	高	(H29)		60.0	70.0	80.0	90.0	100	98.2%	b				
		42.9	42.9	49.8	55.3	59.3	88.4							
評価結果	(a) 指標数	(b) 指標数	(c) 指標数	(d) 指標数	定量評価			B	d 評価に対 する今後の 取組					
	0	2	2	0										